

古文の内容を理解し、自分の思いをまとめる

1 指導のねらい

- (1) 古文の内容を正しく理解して読み取ることができる。
- (2) 古文を基に、条件に合わせて自分の思いを適切に書くことができる。

2 指導過程

学習活動と発問 (発 発 は発問)	指導上の留意点と評価 (評 は評価)
<p>【第一次】</p> <p>(1) 古文「枕草子」第百四十四段「うつくしきもの」を音読して、古文のリズムに慣れる。</p> <p>(2) 古文の内容を理解し、作者の思いや感覚を読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆「枕草子」や作者清少納言について、学習したことを復習する。 評 興味・関心を持って積極的に音読をしているか。 ・古文の現代語訳をし、注意する語句や表現技法について理解させる。 評 「うつくしきもの」の内容を理解し、作者の思いや感覚をつかむことができたか。
<p>【第二次】</p> <p>(3) 清少納言の文章を見本にして、自分の感じたことを表現する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発 自分が「ちいさくてかわいらしいもの」と思うものの例をいくつかあげ、そのものに対する自分の思いや感覚をノートに書き出そう。</p> </div> <p>(4) ノートに書き出した「ちいさくてかわいらしいもの」を題材にして、条件にしたがった作文を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発 書き出しを「ちいさくてかわいらしいもの」にして、条件にしたがって作文を書こう。(学習プリント)</p> </div> <p>(5) 学習プリントの作文を交流し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・枕草子「うつくしきもの」の現代語訳を復習する。 ・自分がかわいらしいと思うものをいくつかあげて、それぞれのどんなところがかわいさをノートに書く。 評 作者の思いを理解し、自分の感じたことや思ったことを文章に表現することができたか。 ・清少納言の枕草子にならって、自分にとっての小さくてかわいらしいものを書く。 評 条件に従って文章が書けているか。 ・互いの文章を読み合って、多様な意見を交流させる。 評 友達の意見を聞いて、自分の考えを深めているか。

◎ 出題のねらい

- ・ 古文の内容を正しく理解して読み取ることができるかどうかをみる。
- ・ 古文を基に、条件に合わせて自分の思いを適切に書くことができるかどうかをみる。

【解答例】

一 四

二 ちいさくてかわいらしいものは、たんぽぽの花の上で羽を広げて飛び立とうとするてんとうむし。
ひよこが二羽、三羽と固まって目をつぶって眠っているところ。保育園児が迎えに来た母親に
向かって走っていく後ろ姿は、特にかわいらしい。(百十字)